

県内20の金融機関

手形と小切手 電子化へ連携

27年3月、紙廃止

十六銀行や大垣共立銀行
など県内に本店を置く20の
金融機関は、手形や小切
手の電子化を進めようと、

5日から連携を始めた。紙
の手形と小切手の交換が2

027年3月末で廃止され
るのを受け、共同のチラシ
を配布するほか、県内の各
商工会議所とセミナーを開
催してインターネットバン
キングなどへの移行を促
す。

2行のほか、6信用金庫、
4信用組合、7JAバンク、
県信用農業協同組合連合会

(JA岐阜信連)が連携す
る。決めた期日に金融機関
の間で代金を自動送金する
「電子記録債権(でんさい)」
やネットバンキングなどへ
の移行を支援する。

政府は27年3月末までに
約束手形の利用を廃止し、
小切手も全面的に電子化す
る方針を示している。